

トップの政策(総合計画等)を中核とする 評価制度の構築

宮 城 県

○ 取組の概要

知事を中心に幹部で構成される「政策・財政会議」において評価のオーソライズとそれに基づく方針を決定。

○ 宮城県の概要



宮城県の概要

県庁所在地

●宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

人口

●2,347,970人

※H17.3.31現在(住民基本台帳人口)

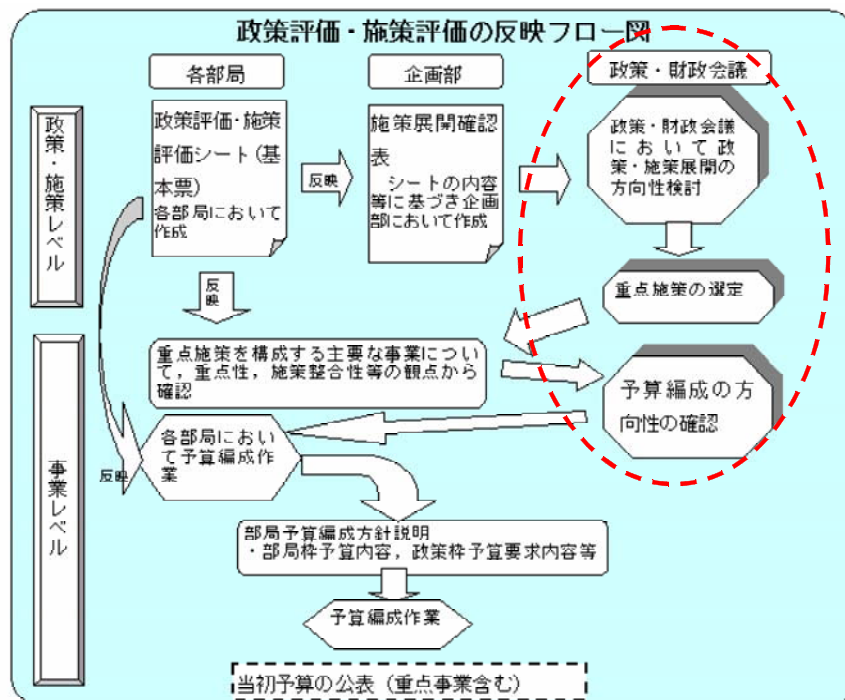
○ 取組について

1. 取組の背景

- ・「政策・財政会議」は、県政にとっての重要政策や行財政運営に関する事項について審議するため、「政策・財政会議の設置及び運営に関する要綱（平成15年5月30日施行）」に基づき、知事、副知事、出納長並びに部長（本庁の部長をいう。）等により構成されている。
- ・以下は、「政策・財政会議」の設置に関わる知事発言である。
 「今までは政策会議というのがありました。政策会議というのは、大体重点事項というのを検討して、そこから今度予算化というのはまた別途その次の作業としてやったんですが、これからはそれはまさに予算とセットというか、政策は政策、それに予算どう当てはめるかというのは別ではなくて、同時決着というか、そういう形にします。ですから名称も、仮ですけども政策・財政会議というようなことになるだろうと思います。」
 （資料）宮城県知事記者会見（平成15年5月19日）より

2. 取組の具体的内容

- ・この「政策・財政会議」設置以降の宮城県の「政策評価」「施策評価」の評価の結果の反映のフローである。



■評価シートの作成（4月～5月）

- ・政策評価指標達成度、社会経済情勢、県民満足度調査結果などに基づき、各担当課が評価原案（基本票）を作成。

■重点施策の決定（6月～8月）

- ・基本票の内容等をベースに、企画担当部門が「政策・施策展開確認表」を作成し（6月）、「政策・財政会議」において次年度以降の政策・施策展開の方向性が審議され、最終的に「重点施策」が選定される。

■重点事業（候補）の決定（10月）

- ・「政策・財政会議」での審議を経て、「政策評価・施策評価の結果」が確定。
- ・「重点施策」を踏まえて、それを構成する主要事業等を中心として「重点事業（候補）」が検討される。これは「重点施策」との整合性等をもとに「政策・財政会議」において審議され、最終的には各部局の「予算編成の方向性」を示す要素として確認される。

■予算編成作業（11月～2月）

- ・6月の「政策・財政会議」において当初予算編成の基本方針が出され、部局枠予算の一次配分が行われる。8月には部局枠予算の二次配分が行われる。
- ・10月の「政策・財政会議」において、当初予算編成方針が決定され部局長が部局枠と政策枠にかかる要求について知事説明を行う。
- ・予算編成過程を経て翌年2月の「政策・財政会議」で重点事業が決定される。

3. 取組にかかる事業費

- ・取り組みに関する事業費は特に計上していない。

4. 取組の体制

- ・「政策・財政会議」は、知事、副知事、出納長、総務部長、企画部長を中心に、開催テーマに関連する部長（教育長、警察本部長を含む）により構成されている。所管課（事務局）は企画部政策課が所掌している。

5. 取組の成果

- ・「政策・財政会議」の設置により、「政策評価・施策評価」、「施策の重点化」、「予算編成の方向性」の3つを一体的に審議する仕組みが出来上がり、評価結果の政策形成や予算編成への反映が一層図られた。

6. 今後の課題

- ・「政策・財政会議」での審議においてより有効に活用されるよう、常に、「評価基本票」や会議時の資料となる「政策・施策展開確認表」の見直しを図ることが必要である。